

# ペルー代表チームでバドミントン指導

## 1. 自己紹介

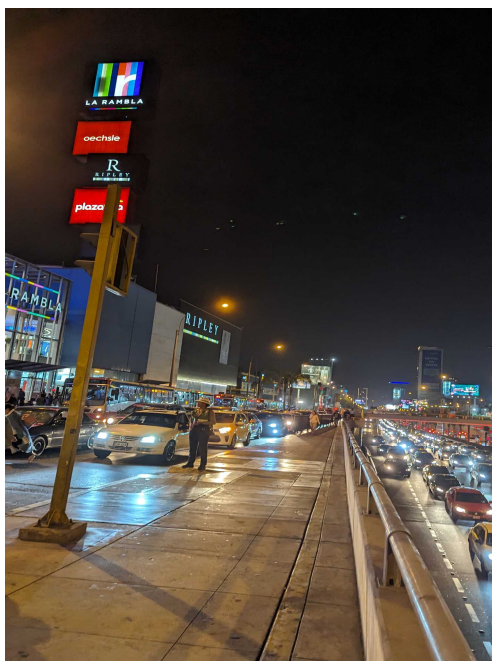
2023 年 4 月からペルー体育庁バドミントン連盟でナショナルチームのコーチとして活動している JICA 青年海外協力隊の岩本正和と申します。中学からバドミントンを始め、社会人になってからも選手、監督、外部コーチなどを経験してきました。今後のバドミントン人生について向き合うなかで JICA を知り現在に至ります。



ペルー代表選手たちとの写真

## 2. ペルーについて

ペルーは南米の西側にあり、公用語はスペイン語です。首都リマは、年間平均気温が 20℃ほどでほとんど雨が降りません。人柄はとてもフレンドリーで歌やダンスを好み、持参した鳴子が役立ってくれました。また多くの文化や伝統にあふれ、マチュピチュやナスカの地上絵など合計 13 世界遺産があります。任地である首都リマの中心地には、高層ビルやショッピングモールなどもあり、車の交通量も多くバスやタクシーが身近な交通手段です。



自宅近くの様子（交通量が多い）



マチュピチュ遺跡

### 3. ペルーでの活動内容

現在、ペルーナショナルチームで主にU-17、U-19 代表選手と、パラバドミントン選手の指導をしています。練習会場は自宅から徒歩 20 分にある、ペルーのナショナルスポーツセンター内にある体育館です。私の活動時間は、6 時 30 分から 2 時間と、17 時から 4 時間半で、朝の練習が終わると一旦帰宅して食事を取り、洗濯や掃除後少し休憩してから夕方の練習に向かいます。体力的にはきついのですが楽しさと充実感が勝っています。先日、タイで開催されたパラバドミントン世界選手権にコーチとして帯同し、5 人の選手がメダルを獲得するなど、チームの一員としてその場に立ち会えたことが大変光栄でした。



・代表選手との練習風景(写真左側のホセ選手は世界バドミントン選手権に出場) ・タイで開催されたパラバドミントン世界選手権（車椅子  
WH 2 クラスでピラール選手が銀メダル獲得）

#### 4. 2年目の活動について

今年8月に開催される「パリ・パラリンピック 2024」では、現時点で2名の選手が出場権を獲得しています。技術・体力ともベストな状態で試合に臨めるようチーム一丸となって取り組み、少しでも良い結果が残せるように努めたいと思います。

氏名：岩本 正和

職種：バドミントン

派遣国：ペルー

配属先：体育庁バドミントン連盟

隊次：2022年（令和4年）度4次隊

派遣期間：2023.4.23～2025.4.22